

彩光苑
だより

ふれあい

新年度のご挨拶

所長 田島 襄

はじめに、このたびの東北関東大震災に見舞われ、被害を受けられた被災地の皆さまやご関係者のご家族さまに、心よりお見舞い申し上げます。また、亡くなられた方々のご冥福を心からお祈り申し上げますと共に、ご遺族の皆さまに哀悼の意を表します。

さて、平成23年度の「済生会彩光苑」の事業計画について述べさせていただきます。今年度は、第2期中長期計画（平成23～27年）の初年度にあたります。「彩光苑を維持・発展させるため」更なる良質なサービスと地域のニーズに即した高齢者福祉サービス、並びに信頼される施設を目指して、中期計画（ビジョン）を策定しました。また、第1期中長期計画は前年度で終了しましたが、その中の課題でありました「診療所の開設」は昨年実現しましたし、介護実習・普及センター事業（3階部分）の廃止に伴い、特養の居室（42増床）に改修する工事も3月に完成しました。年度はじめの4月と5月に、42名の待機者が入居することになりました。この増床計画は、今後、益々増加すると思われる要介護高齢者のニーズに応じていくためであります。

平成23年度の彩光苑行動計画（目標）の骨子は、下記のとおりであります。中でも、口腔ケアの推進を重点目標に位置づけています。当苑では、口腔ケア推進プロジェクトを昨秋に立ち上げ、準備を進めてきました。プロジェクトでは、歯科医師や歯科衛生士と連携を図り、介護職員を中心にケアの知識と技術を習得できる体制づくりを検討しています。入居者の皆さまへの適切な口腔ケアによって、常に口腔内の清潔が保持されることで、食事が美味しく食べられ、食欲が増進し、その結果、体力を維持することができます。また、誤嚥性肺炎の防止にも効果があります。そのうえで、摂食障害及び誤嚥の疑いがある入居者の方には、医師による内視鏡検査等を行い、一人ひとりの嚥下機能をチェックし、適切な口腔ケアにより、健康維持と日常生活の大きな楽しみの一つである、食事を口から美味しく食べていただくことを願い、援助していくものです。

今後も、引き続き皆様に信頼される施設として、入居者中心のサービスを、職員が一心同体となって頑張っている所存でありますので、従前に増してご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年度行動計画骨子

（済生会彩光苑の目標）

1. 顧客（利用者）の視点

- ・グループケアの完成
- ・口腔ケアの推進（食欲増進・健康保持）
- ・認知症ケアの推進（マニュアル・定期研修）
- ・食事に関する改善対策（満足度）
- ・感染症防止のための管理体制
- ・ICFに基づくケアプランの実施
- ・内牧クリニックによる医療の提供

2. 内部プロセスの視点

- ・苑内電子化による承認申請システムとケア記録ソフトの導入と運用（各種決裁書類の簡素化）
- ・法令根拠に基づく施設運営（研修・指導）
- ・各部門間（内牧クリニック含む）の連携を強化し、効率よい組織体形の構築

3. 財務の視点

- ・予算を上回る稼働率の向上を目指す
- ・実践的な効率よい人員配置（人件費の低減）
- ・委託費及び光熱水費の削減
- ・介護報酬の各種加算の取得（経口維持加算等々）
- ・無駄を省き全職員が経営者意識を持って業務にあたる

4. 学習と成長の視点

- ・人事制度の確立と完全実施
- ・職員の教育と研修計画の実施
- ・自己実現と実習生や無資格者への丁寧な指導
- ・EPAによるインドネシア人の受入れと指導
- ・入居者満足度調査（アンケート方式）の実施と分析

5. 外部プロセスの視点

- ・地域に還元する慈善事業の推進
- ・ボランティア拡充対策
- ・ボランティア交流会の充実
- ・地域に選ばれる施設づくり



ご家族に 気持ち伝わる 言葉と笑顔

CS標語

内牧クリニック

3月11日に発生した「東北関東大震災」により被災された皆様におかれましては謹んでお見舞い申し上げます。

皆様のご健康と一日も早い復興をお祈りいたしております。

内牧クリニック一周年を迎えました



いしょっ(-_-)/~~~~
ビシー!ビシー!

ハイタッチ

囑託医としての診療もだいぶ親しまれるようになりました(^)v
みんな元気にやっていますよ。家族の皆様もときどき顔をみせてくださいね(o^)/

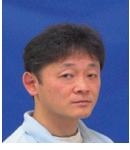
新人紹介



介護担当：清水 智衣子
入職日：平成23年1月17日
苦手なもの：虫（全部）に出あったら叫びます。



介護担当：木村 祐樹
入職日：平成23年2月1日
抱負：常に明るい表情で頑張ります。



介護担当：江原 秀一
入職日：平成23年2月1日
抱負：自分が楽しく、人から喜ばれる介護士を目指します。



介護担当：斉藤 桂子
入職日：平成23年3月1日
抱負：新たな気持ちで笑顔で仕事をしていきたいと思っています。



介護担当：染谷 実奈
入職日：平成23年3月1日
抱負：早く皆様と仲良くなれるように頑張ります。



介護担当：間下 歩美
入職日：平成23年4月1日
抱負：笑顔を決やさず一歩一歩立派な介護士へ近づきたいと思っています。



介護担当：関根 のり子
入職日：平成23年4月1日
趣味：読書
苦手なもの：虫
行ってみたい国：ハワイ



介護担当：小栗 佳幸
入職日：平成23年4月1日
抱負：笑顔とやる気で頑張ります。よろしくお願いします。



ケアハウス担当：手島 治彦
入職日：平成23年4月1日
夢：日本一の富士山がきれいに見える場所に住みたいです。

【編集後記】

4月になり、3階の特養がオープン致しました。少し遅れた桜の開花とともに、新しい利用者さまが入所され新しい職員も増えました。苑に新しいこちよい風が吹いています。皆さまに、喜んでいただけるよう、職員一同ガンバっておりますのでよろしくお願いいたします。

中林

★看護便り★

夏が来る前に、熱中症に備えましょう。熱中症は、気温などの環境条件だけでなく、体調や暑さに対する慣れなどが影響します。特に、湿度が高い 風が弱い 急に暑くなった時は注意が必要です。

＜高齢者の注意点＞
○のどが渴かなくても
こまめに水分補給
○部屋の温度をこまめに測る



施設の理念

私たちは、地域の人々のために、共に手をつなぎ、一人ひとりを大切に、安心して暮らせるように「福祉・医療・保健」を連携させたサービスを提供します。

基本方針

【介護老人福祉施設】

- ◆家族や地域の人々とともに、高齢者の尊厳を守りつつ寄り添うケアに努めます
- ◆利用者みなさまが、安全で安心して暮らせる環境を整えます

【ケアハウス】

- ◆利用者みなさまの声を大切に、いつまでも自立した生活が出来るよう支援します
- ◆食事や入浴のサービスを通して、健康的な生活をささえます

【内牧クリニック】

- ◆地域の人々の健康を願い、心のこもった医療を提供します
- ◆誰もが気軽に集えるクリニックとして、健康相談を行います
- ◆社会福祉法人のクリニックとして、生活困窮をかかえる方々の医療をささえます

3階 特養オープン

かねてより増床の準備を鋭意進めてきましたが、お陰さまで4月1日にオープンする運びとなりました。このうえは、皆様のご期待にそえますよう職員一同、日々精進する所存でございますので、何卒、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。そこでフロアの一部を、ご紹介させていただきます。

3階介護主任 吉田 幸雄

食堂(たんぼぼ食堂)

ここで食事をしていただきます。52型のテレビも完備していますので、日中TVを見ながら過ごせる場所にもなっています。近くには、職員が出入りするステーションもありますので何かありましたらお声がけ下さい。



居室

居室には3人部屋・4人部屋があり、共に6部屋ずつとなっています。天気の良い時には、外の日差しが窓から入るようになっています。



浴室

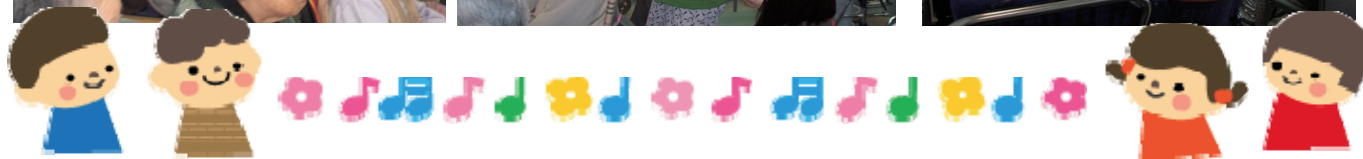
浴室には、一般浴槽2台・機械浴槽1台があります。一般浴槽には、リフトもついており、「使用する・しない」を選択できるようになっています。入浴しながら外の景色を眺めることもできます。



保育園お遊戯会



3月10日(木)豊春中央保育園の園児たちが彩光苑に来苑して、お遊戯を披露して下さいました。園児たちの一生懸命演技する姿に、「かわいい、かわいい」と手をたたいて見ていました。最後にはご自分のお孫さんと姿が重なったのか、涙を流し、感激している利用者さんの姿が見受けられました。

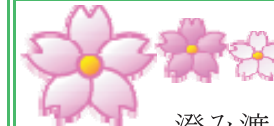


ケアハウス小物作り

ケアハウスでは、3月21日(月)牛乳パックと布を使って小物入れを作りました。仕上げに好みの飾りを付けて、個性豊かな小物入れが出来上がりました。「こうやって作るのは楽しいね」「ワァー宝石箱みたい」と声が上がって、楽しいひと時を過ごしました。



ケアハウスお花見



澄み渡った空の下、4月12日(火)内牧公園にて、ケアハウスのお花見会を行いました。

風の強い花冷えのする日でしたが、みんな元気な足取りで、満開の桜の下を潜り、春を堪能しました。「この風で今年の桜も終わりね・・・」とちょっと感傷に浸りつつも、元気な笑顔が溢れていました。



特養リハビリ

俳句の会



第1回俳句の会が開かれました、みなさん真剣な顔つきで俳句を考えられていました。いくつか作品を紹介いたします。

冬の日 議題を見つめ 初句会
吾が身にも 夢を託して 年惜しむ
初雪に 偲ぶ故郷 父母の顔

山崎さだ様
佐久間和様
佐久間和様

鉄ちゃんの部屋



二回目となりました今回は、新緑をテーマに近場の路線を紹介したいと思います。群馬県桐生市から栃木県日光市足尾を結ぶわたらせ渓谷鉄道は、その名にもある渡良瀬川に沿って走る、自然と足尾銅山といった歴史を伝える路線で、軽油で走る赤銅色のディーゼルカーが、地元の足となり活躍しています。土日には、窓のないトロロコ列車が走っており、新緑を体全身に感じることができます。自然の生命力を感じ、体をリフレッシュさせるのにぴったりかと思ひます。機会がありましたら、出掛けてみてはいかがでしょうか？